

「大人になって良かった」

—修正稿—

2026/09/30

しのめ ののの

〈人物表〉

内田 歩 (15／35) 中学3年生／会社員

夏川 大輝 (35／55) 歩の担任。体育教師／小学校教師

内田 梨乃 (35) 歩の妻

内田 柚葉 (7) 歩の娘

## 中学校・運動場（昼）

へろへろの表情で上下する、内田歩（15）の顔。

3年3組の生徒たちが大縄跳びをしている。

少し離れた所で、夏川大輝（35）が見守っている。

歩、かなりぎこちなく跳んでいる。

生徒たち「5、6、7、8……」

縄が止まる。生徒たち、足元を見る。

歩の足が縄に引っ掛かっている。

歩、慌てて縄を跨ぎ、怯えた顔。

歩「ごめん……」

ため息が広がり、こそこそと陰口が聞こえる。

生徒「またかぁ……」

生徒「これで優勝できる訳ないって」

生徒「てか女子より跳べないことある?」

歩、おどおどと縮こまる。

生徒「一旦、内田だけでやってみたら?」

歩、絶望の表情。

生徒たちが縄から抜け、歩だけが残される。

縄が再度回り始める。

数人の生徒「1、2、3、4……」

縄がたるんで、歩の顔面を強打。

歩「いたっ」

歩、顔を押さえてしゃがみこむ。

チャイムの音。

生徒「終了」

生徒たち、撤収し始める。

歩を遠巻きに眺めてコソコソ喋ったり、笑ったり。

歩、しゃがんで顔を押さえたまま。

両手の隙間から、涙目が覗いている。

夏川の声「悔しいよな?」

いつの間にか近づいてきた夏川、歩の隣にしゃがむ。

がしっと肩を組み、

夏川「でも、内田ならやれる。男だろ? 見返してやれ」

顔を覆う歩の指先に、力が入る。

歩、顔を上げて涙目で夏川を睨む。

## 2. 歩の自宅前・道路（早朝）

歩、息も荒く縄跳びをしている。不格好なフォーム。  
すぐに引っ掛かるも、再度跳び始める。

× × ×

疲弊しきった歩、膝に手をついてえずいている。

## 3. 中学校・運動場（昼）

歩、生徒たちと大縄跳びをしている。  
すぐそばで夏川が熱っぽく見守っている。

夏川 「いいぞ、内田。そうそう」

しかしほどなくして、歩が引っ掛かる。

生徒たち、やれやれといった様子。

夏川、何やら熱っぽく歩にアドバイス。

歩、こわばった表情で荒く息をしている。

## 4. 中学校・校舎裏（夕）

歩、縄跳びをしている。

フォームが少し綺麗になっている。

夏川と4人の生徒が通りかかる。夏川、驚いた表情。

× × ×

生徒2人が縄を回し、歩が必死に跳んでいる。

すぐそばで夏川が熱心にカウントしている。

夏川 「8, 9, 10, 11……」

10回を超え、夏川が喜びの表情を浮かべる。

ぼんやり見ていた残りの生徒2人、少し驚いた様子。

夏川 「12, 13, 14, 15……」

歩が引っ掛かり、縄が止まる。

夏川 「すごい、10回超えたぞ。よくやった」

と、歩の肩を掴んで揺らす。生徒たちも寄って来る。

生徒 「やるじゃん、おめでどう」

生徒 「新記録だよ。この調子で頑張ろう」

歩 「あ……。ありがとう……」

歩、フラフラになりつつも頭を下げる。

## 5. 中学校・校門（昼）

体育祭本番。

校門に「南中学校 体育祭」と掲げられたモール。

歩が嘔吐する声。

## 6. 運動場・男子トイレ（昼）

歩、緊張により個室の便器で盛大に吐いている。

外からは、競技を実況する声や声援が聞こえる。

歩、少し落ち着いて顔を上げる。

涙目だが、鋭い目つき。

## 7. 中学校・運動場（昼）

運動場のあちこちで、複数のクラスが大縄跳びをしている。いずれも大声で回数をカウントしている。

3年3組の生徒たち「21、22、23、24……」

3組の生徒たち、跳びながら驚いた様子。

歩、必死の形相で跳んでいる。

3年2組の生徒たち「27、28、29……」

2組の縄が止まる。

残念そうな声をあげてその場に座る。

3年1組の生徒たち「32、33、34、35……」

1組の縄が止まる。残念そうにその場に座る。

残っているクラスが、4組と、歩の3組だけになる。

3年3組の生徒たち「37、38、39、40！」

数える声がどんどん大きくなる。

歩、息も絶え絶えに跳び続けている。

3年4組の生徒たち「41、42、43……」

4組の縄が止まる。

3年3組の生徒たち「44、45、46、47……」

跳びながら、優勝に気づいた生徒たちがどよめく。

実況放送「あ、今4組が43回で止まりました。という訳で、優勝は3組です！」

3組、飛ぶのをやめて大歓声。飛び跳ねて抱き合う。  
歩、その場に倒れかける。そばの生徒が体を支える。

生徒 「内田すげえ、マジですげえよ！」

夏川も駆け寄ってくる。

夏川 「よく頑張った」

歩 「う、うう……」

歩、ボロボロと泣き始める。

歩 「やった……。やっと……」

夏川 「やったなあ。ほんとに良かったなあ」

夏川や生徒たち、貰い泣きしそうになっている。

歩 「やっと……。これでやっと解放される……」

夏川たち、困惑の表情。

歩、人目もはばからず、むせび泣く。

## 8. 内田家・歩の部屋（朝）

内田歩（35）、はっと目を覚ます。

息は荒く、顔色が良くない。

上半身を起こし、部屋を見渡す。

質素な社会人の部屋。壁にはビジネススーツが掛か  
っており、床にはビジネスバッグが転がっている。

歩、心底安心したように息を吐き出す。

と、ノックの音。

歩 「……はい」

部屋の扉が開き、内田梨乃（35）が顔を覗かせる。

梨乃 「あのさ、柚葉がぐずってて……」

歩、頷いてベッドから出る。

## 9. 内田家・柚葉の部屋（朝）

内田柚葉（7）の部屋。

隅に真新しいランドセルが転がっている。

パジャマ姿の柚葉、ベッドで上半身を起こしている。

歩、床に座って柚葉の話を聞いている。

柚葉 「別に、嫌なことされたとかじゃなくて……。なんとなく、  
喋れないの」

歩 「……そっか」

歩、視線を彷徨わせるように部屋を見回す。

一般的な子ども部屋。壁には時間割が貼られている。

体育の文字が目に入る。歩、わずかに顔をしかめる。

歩 「……無理じゃなくていいよ」

柚葉 「ほんと？」

歩 「うん。苦手なんでしょ？」

柚葉 「でも……。乗り越えるのも大事って、ママが」

歩 「そうだね。でも、乗り越えたからって……」

歩、勉強机の脇に掛けられた縄跳びに気づく。

思わず、目を細める。

歩 「……いい思い出になるとは限らない」

歩、梨乃に向き直し、手を握る。

歩 「時には逃げてでもいいんだよ。大丈夫」

柚葉 「……うん」

柚葉、少し安心した表情。

しかし、歩の肩越しに壁の時間割を見て、

柚葉 「あ、でも……。今日、体育ある」

歩、えっ、という表情。

柚葉 「……やっぱり行く。運動会も近いし」

と、歩の手を振りほどいてベッドから降りる。

歩 「あ、そう……」

準備を始める柚葉を、ぼんやり見つめる歩の顔。

アナウンスの声「次は、PTA競技です。保護者の皆さんはトラ

ックの内側へお越しください」

## 10. 小学校・校門（昼）

校門に「南小学校 運動会」と掲げられたモール。

## 11. 小学校・運動場（昼）

トラック付近。

歩、柚葉と歩きつつ軽くえづいている。

柚葉 「……大丈夫？」

歩 「え？ あっうん、大したことないから……」

と言いつつ、かなり表情がこわばっている。

向こうから、数組の親子連れが賑やかに歩いて来る。

いずれも柚葉の同級生と、その親。

柚葉、立ち止まる。緊張した面持ちになる。

歩 「……大丈夫」

柚葉、歩を見上げる。歩、頷く。

柚葉、歩の影に隠れる。歩、優しく柚葉を撫でる。

親子連れたち、賑やかに通り過ぎる。

柚葉、安心した様子。

と、一人の男性教師が近づいて来る。

教師 「はい、内田さん。これを使ってね」

と、柚葉に縄跳びを渡す。夏川大輝（５５）である。

夏川、歩を見る。そして穏やかに、

夏川 「……無理はしないでくださいね」

歩、眉を寄せる。険しい顔で、夏川を見つめる。

柚葉 「そうだよパパ。ママと代わっていいよ」

歩 「えっ。でも……」

歩、柚葉を見る。

柚葉 「大丈夫」

歩、はつとする。思わず夏川を見る。

夏川、少し微笑んで頷く。そして背を向けて去る。

歩、気の抜けた表情。

× × ×

トラック内。何組もの小学生と親が、二人で一本の

縄を跳びながら走っている。

あちこちから「頑張れー」といった熱い声援。

観覧エリアの歩、居心地悪そうにトラックを見る。

父親と走っている子どもが多め。

そんな中、柚葉と梨乃が前方を走り、健闘している。

歩 「あっ……」

柚葉が縄に引っ掛かりこける。その間に抜かされる。

歩、思わず身を乗り出す。こわごわ絞り出すように、

歩 「が……。がんばれ……。頑張れっ……」

歩の隣にいる幼稚園児が、怪訝な表情で歩を見る。

柚葉たち、立ち上がって再度走り出す。

怒濤の追い上げを見せ、他の走者を次々と抜かす。

歩 「がんばれ……。頑張れ……！」

歩、徐々に声が大きくなる。

柚葉たち、先頭コンビを抜かし、1位でゴール。

実況放送「転倒からの大逆転。優勝は内田さん親子です！」

歩 「や、やった……。やったあ……！」

歩、不器用に大喜び。隣の幼稚園児が引いている。

× × ×

柚葉、笑顔で歩のもとへ駆けてくる。後ろには梨乃。

歩 「おめでとう。すごかったね」

梨乃 「もーつかれた。来年はパパが出てよ」

歩 「いやでも、パパはこういうの苦手だから……」

梨乃 「えー。でもさ、柚葉にかっこいいところ——」

と、先程すれ違った小学生たちが柚葉に寄ってくる。

小学生「内田さん、すごいね」

柚葉、硬直。言葉に詰まる。

小学生「お母さんも速いんだね。お母さんゆずり？」

柚葉、歩を見る。歩が頷くと、ゆっくり笑顔になる。

柚葉 「……うん、そう。ありがとう」

歩、同級生に囲まれた柚葉を見つめる。

## 12. 内田家の玄関前・道路（夜）

一軒家の前。室内からは楽しげな柚葉と梨乃の声。

歩、静かに佇んでいる。手には縄跳び。

歩、縄跳びを見つめる。ゆっくり構え、跳び始める。

数回跳び続ける。歩、少し表情が明るくなる。

と、引っ掛かる。少し逡巡。

再度跳び始める。数回跳ぶが、やはり引っ掛かる。

めげずにもう一度跳ぶ。すぐに引っ掛かる。

歩、ふっと笑う。笑いがこみあげてきて、静かにく

つくと笑い続ける。

しばらくして落ち着き、空を見上げる。綺麗な満月。

歩、満足した様子で家の中へ入る。 おわり